

# PCSA アクションレポート(依存問題対策プロジェクトチーム)

平成 30 年 4 月版

## 第 14 回依存問題対策プロジェクトチーム

開催日時 平成 30 年 4 月 21 日（土） 午前 9 時 30～正午 12 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 メンバー 7 名、合計 7 名

出席者 <リーダー>

辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長

<サブリーダー>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役

<メンバー>

玄 昌起 株式会社ダイナム 営業推進部 業務担当

佐久間 仁 株式会社ニラク 法務部 法務長代理

武田 裕明 株式会社ニラク 法務部

住谷 一真 夢コーポレーション株式会社 運営推進部 部長

武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 課長

### 1) 依存問題対策プロジェクトチーム・法律問題研究部会 in 沖縄について

スケジュールの確認と RSN 事務所訪問時、西村直之 RSN 代表 勉強会での質問内容について検討した。

<スケジュール>

#### 6月29日（金） 1日目

13：30 集合 那覇空港 中央カウンター前

14：15～16:00 RSN 訪問

会場：RSN 事務所

16：40～16：55 ①ストアコンパゾン 1 店目（見学 15 分）

17：25～17：45 ②③ストアコンパゾン 2, 3 店目（見学 20 分）

18：20 旭橋駅周辺 解散

19：30～21:30 情報交換交流会

#### 6月30日（土） 2日目

9：00～11：00 依存問題対策プロジェクトチーム in 沖縄 会場：沖縄県市町村自治会館 6 号室 4F  
「RSN 代表 西村 直之 先生 勉強会」

11：15～13:00 法律問題研究部会 in 沖縄 会場：沖縄県市町村自治会館 6 号室 4F

13：00 解散 沖縄県市町村自治会館

### 2) リハビリサポート・ネットワークについて「2017 年パチンコ依存 電話相談事業 報告書」

掲題の報告書内容を確認した。一昨年の報告書と比較して相談回数自体が増加。相談者が遊技者本人だけでなく家族友人からの場合も増加している。また、借金をしている割合も高く、主な相談内容がパチンコから

離れる方法を聞いてくる事が多い。なお、夜間の相談時間が延長された事で、夜間の需要が存在、その部分をカバーできている事が伺える。一方、毎日の遊技がそのまま「依存問題」に直結するのか、あるいはしないのかで議論がされた。薬物依存症やアルコール依存症のように身体的な症状が出るのとは異なり、経済的な問題がない場合、「依存問題」になりうるのかが問われた。

### 3) どうなる?! ギャンブル依存症対策 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会

平成 30 年 4 月 18 日に開催された掲題のセミナーの内容に関して情報を共有した。当団体の代表理事 田中紀子氏は「パチンコはギャンブルであり、パチンコ依存は完全に病気であり、その依存症を解決する為にもっと支援が必要」という意見をうかがった。他の依存症である「アルコール」や「薬物」と比較して、「パチンコ」依存症対策の進みは非常に遅く、業界も非協力的だという論調であった。なお、当セミナーには多数の政治家が出席しており、活発なロビー活動が伺えた。

### 4) 21 世紀会について 平成 30 年 4 月 12 日開催

リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)の常勤職員が 1 名退職する為、追加で 1 名新規に雇い入れるという事でその費用を負担して欲しいという要望があった。21 世紀会でこの件を了解して、費用負担の割り振りは後に検討予定との事だった。また、電話相談窓口の夜間を新たに RCPG が対応しているが、その夜間相談件数が全相談数の 7 割を占めているとも報告された。また、全日遊連非加盟ホール（非組合ホール）の安心パチンコパチスロアドバイザーの講習会に関しては、21 世紀会のホームページで講習会スケジュールを随時更新するので、そこを確認して欲しいという事だった。また、自己申告・家族申告プログラムの導入店と申込件数の詳細も発表された。また、かねてより俎上にあがっていた第三者委員会の設立準備会の概要や目的などが決定された。また、「ギャンブル等依存問題 正しい理解のために」という冊子の内容を確認、情報を共有した。

### 5) 特定複合観光施設区域整備法案(IR 法案)について

議論の進む「特定複合観光施設区域整備法案（IR 法案）」の現在の概要について情報を共有した。入場料や、納付金率、カジノ管理委員会、IR 区域認定数、区域認定数の見直し、中核施設の要件・基準、立地市町村との関係、開業までのプロセスなどが検討されている。また、入場回数は、7 日間で 3 回、連続する 28 日間で 10 回までとなっている。

### 6) 公益財団法人 日工組社会安全研究財団 情報交換会について

公益財団法人 日工組社会安全研究財団は、依存問題の該当者を学術的に調査、その結果の一部を弊協会「第 62 回 PCSA 経営勉強会」で主任研究員 石田 仁様にご講演頂いた。その石田様に調査結果の概要をご説明頂けないか検討した。

### 7) 次回開催

平成 30 年 5 月 26 日（土）  
午前 9 時 30 分～正午 12 時  
PCSA 会議室

以上